

---

# どうぶつの森 the slow life

赤い水性ペン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

どうぶつの森 the slow life

### 【Nコード】

N5765H

### 【作者名】

赤い水性ペン

### 【あらすじ】

超ほのぼの系です。どうぶつの森というゲームやったことなくても大丈夫です。

## 突っ込み魂

ブ~~~~~ン

僕は今、ある村に向かうタクシーにゆられている。

周りは土砂降りの大雨、近くの方が崩れてこないかしんぱいなじょうきょうだ。

「そついやさ〜あんたなんていう名前なん？」

熊っばい運転手が話しかけてくる。

《ゲームではかっぱです》

「え？ え〜と…………友輔です」

「え？ 友ちゅけ？」

もしかしてふざけてる？といったかんじである。

「友輔です」

「ああ！友輔か！雨で聞こえなかったもんで」

「……………」

「なかなかかつこいい名前だな」

「？」

「まあいいや。目的地のしまムラ…………じゃなくてえ〜と」

「キャラメル村です」

「ああそうだ！ポツ毛むらだー!!」

《ポツ毛村〃ポツケ村のこと。モンハンで主人公が住むことになる村の名前です》

「いいえ、キャラメル村です」

「え？ あ、ごめんごめん。サイハテ村だな!!」

「もういいです」

ここまでくると誰でもあきれますな。

「え？ なんつった?」

「なんでもないです」

「まあいいや。そろそろ目的地の生キャラメル村だぞ」

生キャラメルきた~~~~~~~~~  
~~~~~~~~~

「生？ 花畑〇場に行くわけじゃないですから。だいたいそんな生き生きしてませんから」

「ああ！わるい生ビール村な!!生違いだな」

「わざとですね?」

「え？　なんかいったかい？」

「もうなんにもいってないことにしてください」  
（ちよっとづざい！！）

「まあとりあえずそろそろつくからな」

「はい……………」

ぶ~~~~ん

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5765h/>

---

どうぶつの森 the slow life

2010年10月28日03時49分発行